

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	共通 04 R0
提出年月日	令和3年3月5日

分割申請を考慮した申請書の構成

(基本設計方針の対象設備との関係、添付書類と設備の関係)

【第1回申請対象以外の設備に係る設工認の概要（申請回次、事業変更許可で記載した事項（仕様、性能））】

1. はじめに

- 「日本原燃株式会社再処理施設に係る設計及び工事の計画の認可の審査、使用前事業者検査の確認等の進め方について」（原子力規制庁文書 令和2年6月24日）および「試験研究用等原子炉施設及び核燃料施設に係る設計及び工事の計画の認可の審査並びに使用前確認等の進め方について」（原子力規制庁文書 令和2年9月30日）を踏まえ、設工認申請対象設備に対する事業変更許可申請の担保事項（耐震重要度分類、安全上重要な施設、仕様、性能等）について整理し、また、設工認申請書への反映方法について検討を行った。

2. 事業変更許可申請書の担保事項の整理方法

- 令和2年12月24日に申請した設工認申請書では、原子力規制庁文書の要求である事業変更許可申請書の担保事項のうち、仕様、性能に係る情報を明確に記載できていなかった。
- このため、設工認申請書の「設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」で記載した設備に対して、事業変更許可申請書（本文、添付書類六（加工施設は添付書類五））に記載している仕様情報の整理を行う。
- また、補足説明資料「共通01 設工認の分割申請計画について（全体計画と申請書の構成）」に基づき、添付書類「設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」で記載した設備の設工認申請回次についても明確化を行う。
- 上記の整理イメージを添付-1に示す。

3. 設工認申請書への反映方法

- 2. の整理方法に基づき施設全体を整理し、当該整理結果を取り纏め、実用炉の工認の申請実績等を踏まえて、添付書類「申請に係る部分以外の設計及び工事の計画の概要」を新規で添付する。記載イメージを添付-2に示す。
- なお、施設全体の整理結果については、別途、本書類の改訂にて提示する。

以 上

添付－ 1

事業変更許可申請書の担保事項の整理イメージ

「設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」に対する仕様情報の整理イメージ

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	設置場所	数量	単位	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	共用（廃棄物管理施設）	共用（MOX燃料加工施設）	共用（六ヶ所保障措置分析所）	主要材料	流体の種類	種類、効率、容量等
1	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	使用済燃料輸送容器受入れ・保管設備	—	使用済燃料輸送容器管理建屋 (使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫)	FC	30	基	後次回 2-1	確認	非安重	—	S	—	—	—	—	—	種類：自然空冷式 保管容量：30基
2	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	使用済燃料輸送容器受入れ・保管設備	—	使用済燃料輸送容器管理建屋天井クレーン	FC	1	台	後次回 2-1	確認	非安重	—	C	—	—	—	—	—	種類：天井走行形 容量：約150t
3	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	使用済燃料輸送容器受入れ・保管設備	—	使用済燃料輸送容器移送台車	FC	1	台	後次回 2-1	確認	非安重	—	C	—	—	—	—	—	種類：床面軌道走行形 容量：約150t
4	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	燃料仮置きピット	FA	2	基	後次回 2-1	確認	安重	—	S	—	—	—	—	—	種類：水プール式 ライニング材料：ステンレス鋼
5	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	燃料取出しピット	FA	2	基	後次回 2-1	確認	安重	—	S	—	—	—	—	—	種類：水プール式 ライニング材料：ステンレス鋼
6	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	燃焼度計測後燃料仮置きラック	FA	2	基	後次回 2-1	確認	安重	常設	1.2Ss	—	—	—	ステンレス鋼	—	種類：たて置ラック式 ラック格子の中心間距離： 約21.5cm (BWR燃料収納部) 約47.0cm (PWR燃料収納部) ラック格子中心間最小距離： BWR燃料収納部 19.85cm (使用済燃料集合体平均濃縮度3.5wt%以下) PWR燃料収納部 34.75cm (使用済燃料集合体平均濃縮度3.5wt%以下) 容量：BWR使用済燃料集合体49体（うち1体は高残留濃縮度燃料貯蔵ラック貯蔵燃料用）及びPWR使用済燃料集合体19体（うち1体は高残留濃縮度燃料貯蔵ラック貯蔵燃料用）/基
7	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	燃焼度計測前燃料仮置きラック	FA	2	基	後次回 2-1	確認	安重	常設	1.2Ss	—	—	—	ステンレス鋼	—	種類：たて置ラック式 ラック格子の中心間距離： 約21.5cm (BWR燃料収納部) 約47.0cm (PWR燃料収納部) 容量：BWR使用済燃料集合体49体及びPWR燃料集合体19/基
8	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	防染バケツ	FA	2	台	後次回 2-1	確認	非安重	—	—	—	—	—	ステンレス鋼	—	種類：たて置円筒形
9	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	配管	FA	1	式	後次回 2-1	確認	非安重	—	C	—	—	—	—	—	—
10	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設 使用済燃料の受入れ施設	使用済燃料受入れ設備	燃料取出し設備	—	燃料取出し装置	FA	2	台	後次回 2-1	改造	非安重	—	S	—	—	—	—	—	種類：床面走行橋形 容量：燃料集合体1体/台

事業変更許可申請の担保事項のうち、明確ではなかった仕様、性能等について明確化する

申請時点で”後次回”としていた申請回は、補足説明資料「共通01 設工認の分割申請計画について（全体計画と申請書の構成）」に基づき明確化する

添付－２

「申請に係る部分以外の設計及び工事の計画の概要」

記載イメージ

申請に係る部分以外の設計及び工事の計画の概要

I 申請に係る部分以外の設計及び工事の計画の概要

一 再処理施設を設置する事業所の名称及び所在地

名 称 再処理事業所

所 在 地 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈

二 設計及び工事の計画

- 第1回申請に係る部分以外の設計及び工事の計画（主要な設備及び機器の種類及び個数等）を添付-1に示す。

第2回申請対象（2-1）

- ○○施設（○○設備、○○設備等）
- ○○施設（○○設備、○○設備等）

第2回申請対象（2-2）

- ○○施設（○○設備、○○設備等）
- ○○施設（○○設備、○○設備等）

第2回申請対象（2-3）

- ○○施設（○○設備、○○設備等）
- ○○施設（○○設備、○○設備等）

第2回申請対象（2-4）

- ○○施設（○○設備、○○設備等）
- ○○施設（○○設備、○○設備等）

第3回申請対象（3-1）

- ○○施設（○○設備、○○設備等）

第3回申請対象（3-2）

- ○○施設（○○設備、○○設備等）

後次回申請対象設備の概要を記載のうえ、添付-1の整理イメージにて整理した表を添付する。

II 設計及び工事の計画の全部を一時に申請することができない理由

- ○○○○。 分割申請理由を明記

以 上